



# 滝野東小学校だより

令和元年 11月28日 文責 神田

## 感動に包まれたふれあい音楽会 ～歌と合奏に成長を感じました～

11月16日(土)は、本校体育館にてふれあい音楽会が開催されました。早朝よりたくさんの方が足を運んで下さいました。開会前の体育館内は、1・2階席ともに満席でした。保護者・地域・東雲会(PTA三役OB会)等、たくさんの方に鑑賞していただいたおかげで、各学年の演奏が終わる度に温かい拍手が子ども達を優しく包み込みました。

さて、子ども達は、皆さんに聴いていただくことを励みに夏休み中の家庭練習から一生懸命練習に取り組んできました。その成果が、本番の美しく優しい歌声と息の合った迫力のある演奏に凝縮されていました。どの学年も、それぞれの学年らしさが出た歌と演奏でした。発表順にその良さを紹介します。

発表は、3年生の斉唱「魔法のあいことば」から始まりました。歌詞には「友だちに優しくしたい」等、幸せになるための魔法のあいことばがちりばめられており、優しい気持ちになりました。合奏「ブラジル」も軽快なサンバのリズムで体が思わず動き出すほどでした。元気な3年生にぴったりの演奏でした。

1年生の斉唱「Smile Again」からは、笑顔を忘れないで生きていくことが大切だよと教えられた気がしました。体を左右に大きくふって歌う姿、歌いながら「パプリカ」を演奏する姿に、1年生のかわいらしさが伝わってきました。

5年生合唱「この歌を」は、東日本大震災からの復興を願って作られた曲でした。やわらかな歌声の響きに魅了されました。合奏「千本桜」は、テンポが速くても正確にリズムを刻んだ演奏は見事でした。練習を重ねる度に、みんなの気持ちがひとつになった演奏ができるようになりました。

2年生斉唱「エール」と合奏「GUTS」は、聴く人に元気を届ける曲でした。「世界中の笑顔を集めてそんな君にエールを送るよ」という歌詞からは、たくさん元気と勇気をもらいました。2年生は60人と最も少ない人数での演奏でしたが、迫力ある演奏を披露してくれました。

4年生合唱「赤いやねの家」は、なつかしさを感じる歌詞に、昔見た滝野の町の景色を思い出しました。4年生の優しい歌声で、この滝野の地がますます好きになりました。合奏「A Whole New World」では、映画「アラジン」の世界が描く、美しい景色を思い出すことができました。

最後は、6年生。合唱「マイバラード」では、仲間と共に合唱することの楽しさを心から感じて歌っている姿に感動しました。美しいだけでなく力強くエネルギッシュに表現した歌い方も見事でした。2曲目は、リコーダー奏「糸」。切なくなる音色に感動で胸が締めつけられました。最後は、合奏「ハンガリー舞曲第五番」。高温と低音の響き、アップとスローのテンポのメリハリ、演奏に厚みを感じました。どれをとっても完成度の高さを感じました。6年生は、下級生に憧れを与えてくれました。

PTA評議員の皆様による合唱「やってみよう」と歌とダンス「パプリカ」では、会場が最も盛り上がりました。子ども達も一緒に歌を口ずさむ様子に、歌やダンスを披露して下さった保護者の方も大いに満足された様子でした。おかげで、会場全体に笑顔の花が咲きました。保護者・地域の皆様、最後まで子どもたちの演奏を聴いて下さり、ありがとうございました。

